

Arcserve UDP 9 動作要件

(ベアメタルリカバリ対応)

2023年7月21日更新

Arcserve UDP 9 ベアメタルリカバリ機能の対応機種 (物理環境) です。
本ドキュメントに記載のない機種の対応状況については、当社担当営業までお問い合わせください。

索引

- [Windows サーバー ベアメタルリカバリ対応](#)
 - [FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種](#)
 - [FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種](#)
 - [留意事項](#)
- [Linux サーバー ベアメタルリカバリ対応](#)
 - [FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種](#)
 - [FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種](#)
 - [留意事項](#)

Windows サーバー ベアメタルリカバリ対応

FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種

ラックサーバー	タワーサーバー	ブレードサーバー ^{*1}
RX4770 M1/M2/M3	TX1310 M1/M5	BX2560 M1/M2
RX1330 M1/M2/M3/M4/M5	TX2540 M1	BX2580 M1/M2
RX2520 M1/M4/M5	TX1320 M1/M2/M3/M4/M5	
RX2530 M1/M2/M4/M5/M6 ^{*2} /M7	TX1330 M1/M2/M3/M4/M5	
RX2540 M1/M2/M4/M5/M6 ^{*2} /M7	TX2560 M1/M2	
RX2560 M1/M2	TX2550 M4/M5/M7	

*1：マルチデバイス構成については対応していません。

*2：オンボード LAN ポート拡張オプション搭載時は、Windows Server 2022 環境のみ対応

FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種

Arcserve UDP 9 Premium Edition / Premium Plus Edition をご使用ください。
(Arcserve UDP 9 Advanced Edition は、PRIMEQUEST には対応していません)。

エントリーモデル	エンタープライズモデル	ロングライフモデル
3400S Lite	3400E	3400L
3400S	3800E	3800L

留意事項

- 動作確認は、各サーバーで標準搭載されるハード構成で実施しています。
拡張ハードウェアのすべての組合せについて動作保証するものではありません。
- ベアメタルリカバリ実行中に使用されるハードウェアは、それらのデバイスドライバが（ベアメタルリカバリ実行時に動作する）Windows PE に適合している必要があります。

- ベアメタルリカバリによる復旧対象は、内蔵ハードディスクのみとなります。
ETERNUS ディスクアレイ等の外部ハードディスクについては、ベアメタルリカバリ開始前に結線を外し、ベアメタルリカバリ完了後に再結線(および必要に応じて別途リストア)してください。

Linux サーバー ベアメタルリカバリ対応

FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種

ラックサーバー	タワーサーバー
RX1330 M2/M3/M4/M5 ^{*3}	TX1310 M5 ^{*3}
RX1320 M2	TX1330 M2/M3/M4/M5 ^{*3}
RX2520 M4/M5	TX1320 M2/M3/M4/M5 ^{*3}
RX2530 M1/M2/M4/M5/M7 ^{*3}	TX2560 M1/M2
RX2540 M1/M2/M4/M5/M7 ^{*3}	TX2550 M4/M5/M7 ^{*3}
RX2560 M1/M2	

*3 : 以下の Arcserve 社サイトに記載されている対処を参照ください。

復旧対象の Linux サーバを標準 Live CD およびカスタマイズされた Live CD から起動できない

<https://support.arcserve.com/s/article/2023052001?language=ja>

FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種

Arcserve UDP 9 Premium Edition / Premium Plus Edition をご使用ください。

(Arcserve UDP 9 Advanced Edition は、PRIMEQUEST には対応していません)

エントリーモデル	エンタープライズモデル	ロングライフモデル
3400S Lite	3400E	3400L
3400S	3800E	3800L

留意事項

- 動作確認は、各サーバーで標準搭載されるハード構成で実施しています。
拡張ハードウェアのすべての組合せについて動作保証するものではありません。

- ベアメタルリカバリによる復旧対象は、内蔵ハードディスクのみとなります。
ETERNUS ディスクアレイ等の外部ハードディスクについては、ベアメタルリカバリ開始前に結線を外し、ベアメタルリカバリ完了後に再結線(および必要に応じて別途リストア)してください。
- Red Hat Enterprise Linux 7.x 以前の環境の動作確認は、CentOS ベース LiveCD を使用して実施しています。
Red Hat Enterprise Linux 8.x 環境は、標準 LiveCD を使用してください。